

水と緑の森づくり情報誌

特集
special feature

しまねの森の紅葉特集

森林インストラクターによる周辺ガイド付き

み～も通信



秋
October
2012
VOL.30



しまねの森トピックス
民間木造建築促進事業のご紹介
しまねの森のサポーター
INFORMATION
森のイベント情報

水と緑の森づくり情報誌
み～も通信
秋
October
2012
VOL.30

発行 島根県農林水産部林業課 水と緑の森づくりグループ
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL.0852-22-6003 FAX.0852-26-2144
E-mail mizumori@pref.shimane.lg.jp

http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/mizumori/

本誌は
COPYRIGHT © 2012 島根県農林水産部林業課
印刷 株式会社 印刷工房

読者
プレゼント
present

ハガキに掲載しているアンケートに答えていただいた方の中から抽選で10名様に

非売品
「み～もくんグッズ」
●シール×2種類
●しまねの森づくり
すごろく

をプレゼント。
お名前、住所を必ずご記入のうえお送り下さい。

※12月31日消印有効



Event 森づくりイベント情報

10月 13・14日
子ども探検隊～in 自然の家～
開催場所・島根県立少年自然の家
TEL.0855-52-0716

28日(日)
紅葉の等検縦走(大万木山登山)
開催場所・森のホテル「もりのす」(旧県民の森研修館)
TEL.0854-76-3119

11月 4日(日)
紅葉の指谷奥縦走(指谷山登山)
開催場所・森のホテル「もりのす」(旧県民の森研修館)
TEL.0854-76-3119

11日(日)
秋の散策と、こけ玉づくりを楽しもう!
開催場所・みるさと森林公園 園内と学習展示館
TEL.0852-66-3586

12月 2日(日)
初冬の大万木山トレッキング
開催場所・森のホテル「もりのす」(旧県民の森研修館)
TEL.0854-76-3119

9日(日)
ハーブを使った自然石けんづくり
開催場所・森のホテル「もりのす」(旧県民の森研修館)
TEL.0854-76-3119



切手をお貼り
ください

Post card

6 9 0 8 5 0 1

島根県松江市殿町1番地
島根県農林水産部林業課

水と緑の森づくり情報誌

「み～も通信」発行

フリガナ

お名前

住所

〒

電話

メールアドレス

アンケート

1. 情報誌「み～も通信」はどこで入手されましたか?

- ☐ 市町村役場 ☐ 公共施設 ☐ 自治会回覧 ☐ 図書館 ☐ 公民館
☐ スーパー ☐ 銀行 ☐ 駅 ☐ JA ☐ コンビニエンスストア
☐ その他 ()

2. あなたは「水と緑の森づくり税」について知っていましたか?

- ☐ 知っていた ☐ 知らなかった

☐ 男 ☐ 女

年齢

松江市



スポット検索ワード

松江市 田原神社



[見頃]11月中旬～11月下旬(例年)

秋らしくなってきました。食欲の秋!行楽の秋!夏の暑さからも解放され、楽しみも増えますね。秋の紅葉ということですが、身近な街の中にも紅葉はやってきます!松江城の北側の石橋町から奥谷へ、この辺りは松江市より緑地保存区域に指定されてい

て緑の多いところです。千手院や田原神社には多くのモミジが植わっています。田原神社の参道には、イロハモミジなど、連々にモミジが並んでいて秋の色彩や気分を満喫できることでしょう。歴史の風情と共にちょっとしたお散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか!身近な発見があるかも!



島根県森林インストラクター
福岡茂明

松江市



スポット検索ワード

持田小学校 大平山



[見頃]11月中旬～11月下旬(例年)

松江市の東持田町から島根町へ抜ける林道をドライブしてみませんか?市内から本庄町へ向う農免農道を持田小学校の先から左に折れて大平山方向に登っていくと林道に入ります。頂上まで進んで下って行くと目の前に赤や黄色に色づいた山と海の青さが

が素敵なコントラストを描いています。晴れた日には遠いはずの隠岐が近くに見えるチャンスもありますよ!市内から近隣の素敵な紅葉スポットはいかがでしょうか。



島根県森林インストラクター
青砥和夫

出雲市



スポット検索ワード

出雲市 鰐淵寺



[見頃]11月中旬～11月下旬(例年)

鰐淵寺は天台宗の寺院、中国観音霊場第25番札所として有名ですが、春の新緑、秋の紅葉、樹齢数百年を超える老杉。落差18mの滝。堂の右前の岩窟より湧き出る龍眼水など、多くの自然と触れ合える場所でもあります。

秋に全山を赤く染める紅葉は、11月に「もみじ祭り」も開催されるほど見事です。鰐淵寺で見られる紅葉は「いろはもみじ」という種類で、紅葉の代表種です。多くの文化財と美しい自然を満喫できるスポットとしてお勧めします。

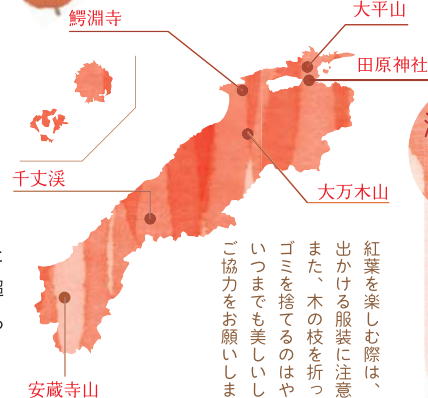


島根県森林インストラクター
三枝共子

森林インストラクターによる周辺ガイド付き
しまねの森の

紅葉

特集



紅葉を楽しむ際は、天候を確認し、出かける服装に注意してください。また、木の枝を折ったり、ゴミを捨てるのはやめましょう。いつまでも美しいしまねの森であるようにご協力をお願いします。

飯南町



スポット検索ワード

大万木山



[見頃]11月中旬～11月下旬(例年)

島根県と広島県の県境に位置し、100年を超えるブナの巨木が並びます。九州では絶滅してしまったツキノワグマも闊歩し、新緑が美しい事で有名な大万木山ですが、ブナの白い肌に黄色や褐色の葉が映える紅葉も壮観で、まさに島根の宝です。また、紅葉が終わった後も、ブナの

落葉は硬いため、降り積もった中を歩くとカサカサと心地よい音がします。弾力のあるまさにスポンジのような山道を歩けるのも魅力の一つです。登山には雨がつきものですが、最近では合羽も高性能で気持ちよく登山できます。ところが、山頂についてお昼を食べようと弁当を開くとまだけはさすがに雨はいけません。この大万木山には避難小屋があり、雨でも楽しく休憩できます。天候を選ばないオールマイティな魅力の大万木山へ、一度出かけください。

林業課スタッフ

江津市



スポット検索ワード

千丈溪



[見頃]11月中旬～11月下旬(例年)

千丈溪は八戸川支流の日和川が岩肌を浸食して約4.8kmに渡ってできた渓谷です。「千丈溪二十四景」と呼ばれている、白藤滝、相生滝、紅葉滝、千畳敷、魚切などの景勝地が続きます。また山頂には赤松が、中腹以下には闊葉樹が茂り、春は新緑、秋は紅葉と、四季を通じて見事な景

観です。滝や淵を巡る遊歩道は、植物も豊富で昆虫や動物も多く、充実した散策ができるので、中国自然歩道のルートにもなっていて、自然観察やハイキングに利用されています。

林業課スタッフ

津和野町



スポット検索ワード

安蔵寺山



[見頃]10月下旬～(例年)

西中国山地国定公園の西端に位置し、ブナを求めて登山客が途絶えることのない人気の山です。近年林道が整備され、安蔵寺トンネル周辺から登れば1時間足らずで山頂を味わえる身近な島根県の最高峰で、途中西日本一のミズナラの巨木、通称「ナラ太郎」(推定樹齢600年)

に会うことができます。巨木の多くは人を癒やしてくれるような包容力をもち、エネルギーを与えてくれるような力強さをもっており、この「ナラ太郎」も幹に抱きつきたくする優しさや美しさがあります。ぜひ紅葉と「ナラ太郎」に会いに行ってみて下さい。

林業課スタッフ



「水と緑の森づくり税」の仕組みをご紹介します!

荒廃した森林をよみがえらせ、水を育む緑豊かな森を次の世代に引き継いでいくために、平成17年度から5年間「水と緑の森づくり税」を原資として、県独自の森づくりを進めてきました。平成22年度以降も5年間「水と緑の森づくり税」を継続し、元気な森を育てていきます。引き続き県民参加による森づくりへのご理解とご協力をお願いします。



水と緑の森づくり税制度の仕組み

□個人の場合

納税義務者：県内に住所・家屋数等がある人です。

納税額：年額500円

県民税均等割額1,000円に加算して納めていただきます。

●実施期間

平成17年度から平成26年度までの各年度分の均等割

□法人の場合

納税義務者：県内に事務所等を有する法人です。

納税額：均等割額の5%相当額

県民税均等割額に加算して、次の額を納めていただきます。

資本金等の金額区分	均等割額	水と緑の森づくり税	申告納付額
50億円超	800,000円	40,000円	840,000円
10億円～50億円以下	540,000円	27,000円	567,000円
1億円～10億円以下	130,000円	6,500円	136,500円
1千万円超～1億円以下	50,000円	2,500円	52,500円
1千万円以下	20,000円	1,000円	21,000円

●実施期間

平成17年4月1日から平成27年3月31日の間に開始する各事業年度分の均等割



水と緑の森づくり税Q&A・個人編

～いただいたご意見(葉書)から～

Q1

水と緑の森づくり税はどのような人が納付していますか?うち子ども(小学生)も対象でしょうか?

A1

水と緑の森づくり税は一定の所得があり、住民税(個人の県民税+個人の市町村民税)を納付いただく方が対象となります。したがって、所得のない子ども等は対象となりません。なお、以下の方は非課税となっています。

Q2

私はサラリーマンですが、水と緑の森づくり税をどのようにして納税していますか?県税を納付した覚えがありません。

A2

毎月の給料から引き去りにより住民税として納めていただいています。なお、自営業などの方は、市町村からの通知書によって年4回納めていただいています。

非課税者

- 生活保護法の規定による生活扶助を受けている人。
- 未成年者・障害者・寡婦・寡夫の方で前年の所得金額が125万円以下の人。
- 前年の合計所得金額が一定金額以下の人。

Other 森TOPi その他の「しまねの森トピックス」

平成24年度 みーもの森づくり事業をご紹介します!



NPO法人まちづくりネットワーク島根

しまね県の木材の良さを体験しよう!

7/29・9/2の両日、松江市のふるさと森林公園にて「しまね県の木材の良さを体験しよう」というイベントが行われました。このイベントは、雨が降り手持ちの傘が無いときに、観光のお客様・松江市民問わず、市内各所に設けられた専用傘立てから自由に傘を使える「松江だんだん傘プロジェクト」に使用する傘立てを県産材で作ろうというもの。同NPOの黒田さんは「雨が多く、豊かな自然が残る松江市を知ってもらうのに最適な企画。町で傘立てを見かけたら気軽に使ってほしい」と語っていただきました。



NPO法人まちづくりネットワーク島根
☎0852-20-1821
<http://www.machi-s.com/>



こばと保育園

親子ではぐくむ木育



9月17日、松江市のこばと保育園に大型木製遊具が設置されました。これは、プラスチック製品などの普及により、木製品が減少し、子どもたちが木に触れる機会が減っている現状を変えたいという想いから発案されました。遊具には、森林の素晴らしさ、木の温かみを五感で感じてもらおうと「登る・よじ登る・滑る・くぐる」などの要素を取り入れています。設置に合わせて、島根県森林インストラクターを講師に迎えた野外体験活動を父兄も参加して開催するなど、若い世代に向けてしまねの森の素晴らしさを伝える活動が行われています。



安田地区連合自治会

遠田海岸防風保安林をまもる



益田市の遠田海岸防風林は、1700年頃から防風対策として管理されてきました。ところが、1970年代頃から大流行した「松くい虫被害」によりクロマツが枯死し、農地や民家などに強い潮風が吹き付け、被害が発生し始めました。そこで、「みーもの森づくり事業」の支援を受けて、安田小学校の児童や森づくりの会など、多くの地域住民の力でクロマツを植栽することにしました。島根県が開発した抵抗性マツ「くにびき松」を600本植栽し、海岸と松苗の間には竹垣を100m以上設置しました。防風林の設置に尽力した「安田地区連合自治会」の沢江さんは「竹垣を作るのには苦労しましたが、地域の皆さんの協力により、マツも枯れることなくすくすく育っています。10年後20年後には立派な防風松林に生まれ変わるでしょう。」と語っていただきました。24年度も本事業は継続して実施されています。

水と緑の森づくり税、事業の詳細は巻末HPからご確認ください。



しまねの森の サポーター



島根県中山間地域研究センター
資源研究グループ
宮崎恵子さん

知れば知るほど面白い「きのこの世界」

中山間地域の活性化を目的に、さまざまな試験・研究を通じて、技術指導や情報提供などをおこなう「島根県中山間地域研究センター」に勤務する宮崎さんは「資源研究グループ」の一員として、特産品の研究開発に取り組んでおられます。

きのこや薬用樹木を対象に、品種開発から栽培法などの研究開発や、野生きのこの中から食用になるものを探すなど、グループのテーマはさまざま。最近では、砂地に発生する食用きのこ「ショウロ」の畑栽培に成功。すでに斐川町などでは栽培が始まるなど成果が上がっています。



県内で行われるイベントで講師として活躍する宮崎さん



そんな宮崎さんは、鳥取県にあるきのこ研究の本拠地「日本きのこセンター」で学んだ、きのこのスペシャリスト。きのこアドバイザーの有資格者でもあり、平成17年には「きのこガイドブック」も出版されています。こうした専門知識を活かして、近隣地域でおこなわれる、秋のきのこ狩り教室の講師としても活躍中です。

「知れば知るほど面白いのが、きのこの世界。この面白さを子どもからお年寄りまで広く伝えていきたい」と宮崎さん。

近々では10月21日に三刀屋町の峯寺森林公園で「きのこ狩り、きのこ料理の集い」に講師として参加されるそうです。



みーも サマースクール レポート

今年の夏、松江市の児童を対象にした「みーもサマースクール」を計5回開催しました。このイベントは、島根の豊かな自然を子どもたちに体験してもらおうと本年度から試験的に開催しているものです。島根森林インストラクターの指導のもと、対象児童の年齢に合わせて様々なメニューを用意。今回は9月10日に行われたイベントの様子を紹介します。

開催日 9/10(月)

参加

こばと保育園(25名)

開催場所

飯南町ふるさとの森・もりのす(飯南町・県民の森)

Schedule

- 8:30～ 集合・バスにて出発(松江市→飯南町)
- 10:30～ 登山(展望台にて昼食→下山)
- 13:00～ 川遊び(ヤマメの掴み取り)
- 15:00～ バスにて松江市へ

当日は午後から雨の降るあいにくの天気でしたが、子どもたちは登山や川遊びを楽しみました。島根県では、水と緑の森づくり事業に対する理解を深めるため、来年度も豊かな自然を体験できるみーもサマースクールを実施する予定です。



キノコや植物を観察しながらゆっくり登山。
標高800メートル、
約2kmの山道を制覇しました！



川遊びで獲った
ヤマメを頬張る
子どもたち。



3. 情報誌「みーも通信」の記事の量(情報量)についてどう思いますか。

☐少ない ☐ちょうど良い ☐多い

4. 特集で取り上げてほしいテーマがありますか。

5. 「水と緑の森づくり税・みーも通信」についてご意見をお聞かせ下さい。

みーもくんの塗絵



ご応募頂いた塗り絵はホームページに掲載させていただきます。